

ふくふく



せん妄対応の取り組みについて
～デルタプログラムの導入～



社会福祉法人 済生会支部
山口県済生会下関総合病院



赤間神宮

基本理念

「心のかよう質の高い医療」を提供します

基本方針

「患者の幸せ」のため、質の高い医療の提供を目指します
よりよい医療環境を求めて、地域と共に保健・医療・福祉の充実を目指します
職員の協働活動のため、よりよい環境づくりを目指します

患者さんの権利と責務

1. 個人の尊厳を尊重され、医療者との相互の協力関係のもとに良質な医療を受けることができます。
2. 病気・検査・治療などについて、十分な説明と情報をうけることができます。
また、よく理解できなかったことについては十分理解できるまで質問することができます。
3. 十分な説明と情報提供を受けた上で、医療者が提供する検査や治療方法などを自らの意思で選択することができます。また、他医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
4. 当院での診療の過程で、医療者が得た個人情報やプライバシーについては厳正に保護されます。
5. 所定の手続きをおとりになることにより、ご自分の診療録の開示をお求めになることができます。
6. 良質な医療実践のため、自分自身の健康に関する情報を正確に提供する責務があります。
7. すべての患者さんが適切な医療を受けられるように、他の患者さんの入院生活や病院職員の医療提供に支障を与えないように配慮する責務があります。
8. 安全で優しい療養環境を維持するために、医療に関する法律や病院で決めた約束事などをお守り頂く責務があります。
9. 医療費を支払う責務があります。

せん妄対応の取り組みについて ～デルタプログラムの導入～

せん妄対策委員会

せん妄は身体的要因や薬物が誘発した意識障害であり、一般の総合病院に入院した方の2～3割に認められています。せん妄により、危険な行動が表れ、コミュニケーションの妨げとなるばかりでなく、せん妄期間と1年後の死亡率は相関するとの報告もあります。近年、その予防をするためのデルタプログラム（Delirium Team Approach Program）が着目されています。デルタプログラムとは、国立がん研究センター東病院で開発されたもので、多職種が入院初日から関わり、せん妄を予防し早期に対応することができる仕組みです。せん妄によって生じる、危険行動の減少、患者さんやそのご家族の動揺の軽減、医療スタッフの対応スキルの向上、入院期間の短縮が目的とされています。国立がん研究センター東病院では、デルタプログラム導入後、①せん妄の発症率の低下、②転倒や自己抜管などの有害事象の減少、③ベンゾジアゼピン系薬剤の処方減少、④退院時の日常生活動作の改善、⑤入院期間の短縮という5つの効果を認めたという報告があります。

当院でも、せん妄の予防と早期対応を図るため、デルタプログラムを導入することになりました。そのため、2018年9月に済生会熊本病院 心療内科・精神科医の北英二郎先生に講義をしていただきました。デルタプログラムの概要、せん妄出現時の治療戦略についての内容でした。その後、2018年11月に熊本済生会病院に見学に行き、せん妄対策委員会を発足し、導入について協議を重ねました。デルタプログラムは3つのSTEPで成り立っています。

STEP1：せん妄のリスク評価（医師が行う）

STEP2：せん妄症状のチェック（看護師が行う）

STEP3：せん妄ケアの計画と評価（看護師が行う）

以上の3つのSTEPがスムーズに運用されるよう、薬剤の選定、指示簿の作成、電子カルテ内のマスター登録と準備を進め、現在、看護職にせん妄対応研修を行っています。この研修を行うために、今年6月に、再度、熊本済生会病院より、北先生と5名の看護師に当院に来ていただき、副看護師長と主任看護師の15名が研修を受け



主任会が中心となりせん妄対応研修を毎月行っています

ました。北先生の講義の後、「痛い」「さみしい」「眠れない」と訴える患者さんへの対応ロールプレイングを行いました。患者さんの何か変だと感じた言動を「せん妄アセスメントシート」を用いて、せん妄症状のチェックをし、その後、せん妄対応へと進みました。受講生は、患者、看護師、オブザーバーの役をし、それぞれの役になりきりました。この研修で、せん妄症状の情報共有、医療者間の連携について理解し、せん妄の予防とアセスメント、対応の方法を習得することができました。この時参加した主任看護師が中心となって、9月から毎月1回、せん妄対応研修を実施しています。せん妄対応を確実に行うためには、看護職全員に周知する必要があり、来年度も引き続き実施していきます。

デルタプログラム導入の効果により、当院に入院される患者さんが、より安心して過ごしていただけるよう、全職員で一丸となって取り組んでいきます。



北先生の講義に様々な職種の職員が参加しました

治療と仕事の両立支援の相談窓口ができました

産業保健総合支援センター相談員が休みのとり方、会社との付き合い方、治療のスケジュールに合わせた働き方など、仕事を続ける上での工夫について、どなたでも無料で相談することができます。

日時 毎月第3金曜日 10:00～14:00

場所 1階ロビー(インフォメーションでお声をかけてください)

がん患者さん・ご家族のための

ふくふくサロン

時間 13:00受付～15:00

場所 2階会議室

がん患者さんや家族の方が「語りの場」として「ふくふくサロン」を開催しています。
コーヒーを飲みながら話し合ってみませんか。

開催日 令和2年

**1月8日(水)、2月12日(水)、
3月11日(水)**

費用 無料(駐車料金含む)

対象 がん患者、その他ご家族(通院、入院、他院問わず)

お問合せ

がん相談支援センター(直通) ☎083-262-2332

地域医療支援研修会 (令和2年 1月～3月)

〈時間〉 18:00～19:00 / 〈場所〉 管理棟 講堂(3階)

開催日	テーマ	講師
1月 23日(木)	患者のやる気を引き出す療養支援のポイント	糖尿病認定看護師 安田 直子
2月 27日(木)	全身麻酔・くも膜下麻酔後の観察点	手術看護認定看護師 丸岡 聖路
3月 26日(木)	心電図について	慢性心不全看護認定看護師 山口 健二

地域医療支援病院の教育活動の一環として、毎月1回(第4木曜の18時～)研修会を開催します。是非ご参加下さい。

※事前の申し込みは不要(駐車場は当院外来駐車場をご利用下さい)

健康講座の予定 (令和2年 1月～3月)

〈時間〉 10:00～10:30 / 〈場所〉 会議室(2階)

開催日	テーマ	講師
1月	8日(水) 認知症の方への生活支援 ～穏やかに暮らすためのヒント～	認知症看護認定看護師 吉永 奈央
	15日(水) 子供のけいれんについて	小児救急看護認定看護師 井上 美里
	22日(水) 赤ちゃんの体について	新生児集中ケア認定看護師 安田 さくら
	29日(水) あなたは大丈夫? ロコモティブシンドローム	糖尿病看護認定看護師 安田 直子
2月	5日(水) 日本人の死因「心疾患」とはどんな病気?	集中ケア認定看護師 前田 友美
	12日(水) 心臓の病気について知ろう ～心筋梗塞・狭心症について～	集中ケア認定看護師 福永 沙織
	19日(水) 日頃からの感染症対策	感染管理認定看護師 古賀 香奈子
	26日(水) 脳卒中を予防しよう	脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 安村 美穂
3月	4日(水) あなたの腎臓を守りましょう	透析看護認定看護師 谷口 裕子
	11日(水) 危険な頭痛、胸痛について	救急看護認定看護師 坂本 直美
	18日(水) その症状見逃したらいけないサインかも ～心臓・脳・大腸について～	集中ケア認定看護師 堤 由佳
	25日(水) スキンケアについて	皮膚・排泄ケア認定看護師 池田 千尋

教室・相談窓口のお知らせ (令和2年 1月～3月)

	実施日	時間	場所	参加費	お問い合わせ
糖尿病教室	1月/17(金)	13:00～13:30	会議室(2階)	無料	栄養管理科
	2月/7(金)、21(金)				
	3月/6(金)				
なんでも相談窓口	1月・2月・3月/(月)～(金)	8:30～17:00	医療相談室	無料	医療相談室
マザークラス	1月/9(木)、16(木)、23(木)、30(木)	13:00～16:00	会議室(2階)	500円 テキスト代 (初回のみ)	4階東病棟
	2月/6(木)、13(木)、20(木)、27(木)				
	3月/5(木)、12(木)、19(木)、26(木)				

おことわり 上記の日程は、諸事情により変更もしくは中止となる場合があります。ご了承ください。

※腎臓病教室は、入院患者のみを対象とするため削除となりました。※糖尿病教室は、月2回の開催になりました。

診療実績報告 (令和元年 8月～令和元年 10月)

	外来患者数	入院患者数	新入院患者数	平均在院日数	救急車受入件数	手術件数
令和元年 8月	17,525人	11,792人	950人	11.63日	329件	827件
令和元年 9月	17,022人	11,392人	935人	11.40日	285件	771件
令和元年 10月	17,973人	11,431人	853人	12.50日	292件	820件